**基本書式　審理の進め方**

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　令和４年１２月

**１　基本書式の構成**

　　基本書式は、「頭紙」、「主張一覧表」、「損害額一覧表」の３つの書式で構成されます。「主張一覧表」、「損害額一覧表」の作成方法の詳細は、「基本書式作成ガイド」をご覧ください。

**２　基本書式を用いた審理のイメージ**

頭紙

主張一覧表

損害額一覧表

**訴状**

頭紙

主張一覧表

損害額一覧表

**答弁書**

主張一覧表

損害額一覧表

頭紙

主張一覧表

損害額一覧表

頭紙

**原告準備書面**

（以下同じ）

**被告準備書面**

Teamsを用いたデータの授受

（説明）

当事者双方は、共通の主張一覧表、損害額一覧表に自身の主張を加筆し、Microsoft Teams（以下「Teams」といいます。）にアップロードします。これにより、最新の主張が反映された主張一覧表、損害額一覧表を共有することができ、主張立証の状況を適切に把握して、真の争点に集中した審理が促進されます。

　　書面の作成・提出方法は、次のとおりです。

　⑴　訴えを提起する段階（原告）

（説明）

原告は、訴えを提起するに際し、訴状頭紙、主張一覧表、損害額一覧表に必要事項を記載し、プリントアウトしたものに通し頁を付けて、裁判所に提出します。そして、当該事件のチームが作成された後、主張一覧表、損害額一覧表のデータをTeamsにアップロードします。

　⑵　答弁書を作成する段階（被告）

（説明）

被告は、主張一覧表、損害額一覧表のデータをTeamsからダウンロードした後、答弁書頭紙、主張一覧表、損害額一覧表に必要事項を記載し、プリントアウトしたものに通し頁を付けて、裁判所に提出します。そして、主張一覧表、損害額一覧表のデータをTeamsにアップロードします。

　⑶　準備書面を提出する段階（原告、被告）

（説明）

原告及び被告は、主張一覧表、損害額一覧表のデータをTeamsからダウンロードした後、準備書面頭紙、主張一覧表、損害額一覧表に必要事項を記載し、プリントアウトしたものに通し頁を付けて、裁判所に提出します。そして、主張一覧表、損害額一覧表のデータをTeamsにアップロードします。なお、裁判官の方針によっては、書面の提出を求めず、データのみで審理を進めることも考えられます。

また、主張一覧表又は損害額一覧表に加筆訂正がない場合は、当該主張一覧表又は損害額一覧表の提出やデータのアップロードは不要です。